

平成28年度岡山ESD推進協議会
岡山ESDプロジェクト活動支援助成金事業報告書

事業名 見て、聞いて、感じる フェアトレードの展開

団体名 岡山フェアトレードの会 担当者名 野本 恭子

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

(1) 岡山市フェアトレードマップ制作

- ・「フェアトレード店舗マップ ー岡山市内版ー」の作成。(2,000部)
- ・掲載店舗へ掲載報告を兼ねて配布。イベントで配布。

(2) おかやまフェアトレードの会 例会の実施

平成28年度は、4月から毎月第3木曜日午後開催し、メンバーで活動状況の報告をしたほか、実施計画のすり合わせなどを行った。

(3) 事業・イベント

① 「おかやまフェアトレードデー 2016」

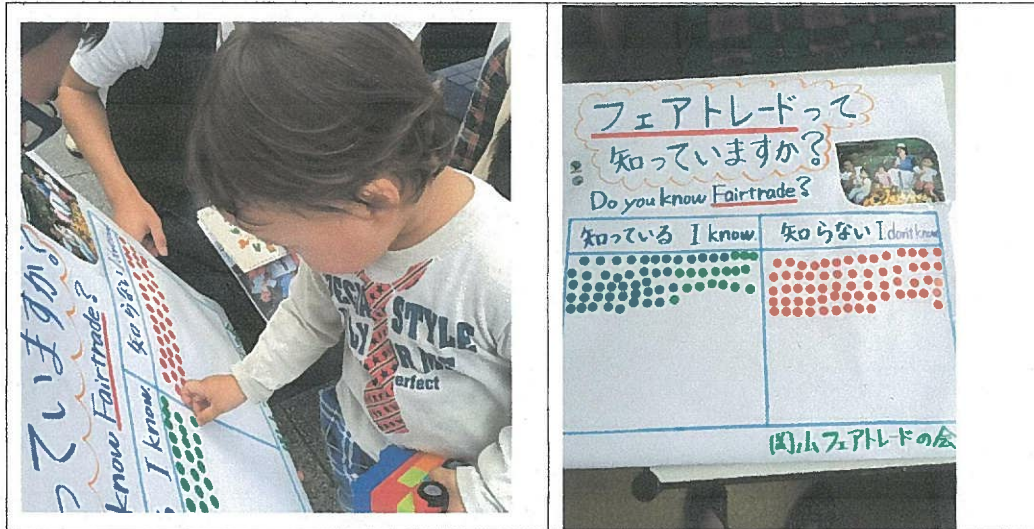
日時：平成28年5月

場所：岡山国際交流センター、奉還町りぶら

主催：岡山県国際交流協会、協力：岡山フェアトレードの会



- ・国際交流センターでは、フェアトレードワークショップ、「ザ・トゥルー・コスト」の上映会及びピープルツリーの胤森さんによるシネトークが行われた。参加者は約 100 人。
- ・奉還町りぶらでは、フェアトレードコーヒー等の提供、美味しいコーヒーの淹れ方ワークショップ、スンダリ・ミカコンサートなどが行われた。



フェアトレード認知度調査結果（奉還町りぶらにて聞き取り実施）
 総数 125・・・知っている 61(49%)、知らない 64 (51%)

② 「岡山大学スーパーグローバル・ホームカミングデー」出店

日時：平成 28 年 10 月 22 日（土）11:00～16:00

場所：岡山大学津島キャンパス 本部棟・五十周年記念会館周辺

来店者：のべ 200 人程度



- ・フェアトレードコーヒー、ワッフルの提供・販売、フェアトレード雑貨、チョコレートなどの販売を通じて、フェアトレードに関する認知向上を図った。

③ 「フェアトレードを勉強して、チョコバナナを作ろう」

日時：平成 29 年 1 月 21 日

場所：岡山市立吉備公民館

参加者：27 人（親子連れ、年配の方など）

・カカオからチョコレートができるまで、バナナができてお店に並ぶまで、について写真教材を使ってグループごとに並び替えるワークショップを実施。

・グループごとにわいわいがやがやと楽しみながら、クイズを解く感覚で参加してもらい、ワークショップと生産現場に関する説明をした後に、チョコバナナを食べた。

・保護者から、「あまりフェアトレードのことを知らなかったが、これからはフェアトレードラベルなど気にしてみたい。」という声もあった。



④ 東山 ESD クラブ「地域を活かす農業と食の安全」子ども特別プログラム

「フェアトレードってなに？」フェアトレードチョコバナナづくり

日時：平成 29 年 1 月 28 日（土）10:00～12:30

場所：岡山市立東山公民館

参加者：10 人（幼稚園～小学 2 年生）



・チョコレートができるまでの写真を見て並び替えるワークショップを実施。

・幼稚園の子どもには少し難しいワークだったが、ワーク後にカカオ生産現場の映像教材を見た時には、子どもたちも画面に集中していた。

・ワークショップは子ども向けだったが、大人向け講座（地域を活かす農業と食の安全）でも10分間ほどフェアトレードについてお話する時間を作っていたので、フェアトレードの概要と岡山フェアトレードの会についての説明をさせていただいた。あわせて、子どもプログラムの実施内容や、子どもたちの感想なども紹介させていただいた。

地域を活かす農業と食の安全



(写真はワッガファームホームページより)

私たちは「健康によくて安心できる」より「見た目が美しい」食べ物に囲まれています。またごみは焼却処理されていて資源循環されていません。私たちの持続可能なライフスタイルを有識者や農業者のお話や生ごみ堆肥化の話を通して、試食会を通して新しい農業や食について交流しながら考えてみましょう。



お子様もご一緒にどうぞ

定員 50名
(先着順)
お子様同伴可
参加費無料

【日時・場所】
1月28日(土)
10:00~12:30
岡山市立東山公民館
岡山市中區平井4-19-55(086-276-6202)

【プログラム】
講演！「持続可能な食の安全を生きる！持続可能な農業」
岡山県立大学ワッガファーム代表 佐々木 竜也さん
講演！！「生ごみを堆肥化！家庭での循環型エコ生活の実践」
ごみ堆肥化推進員 山崎 梨二さん
試食 無農薬野菜の試食や便所
交流予定 市民農園の方や堆肥製作用して野菜づくりをしている方の体験を聞いて交流します。

【子ども特別プログラム】
「フェアトレードって なに？」
フェアトレードチョコレートを使って
チョコバナナを作って、食べよう！！

【お子様も一緒にどうぞ】
ご一緒にお子様には特別プログラムがあります。
既来もあります。1歳0か月以上、定員5名
料金は 900円 予約は 1月21日(土) 締め

主催: おかやまエコマイドネットワーク
共催: 岡山Eのクラブ
協賛: (社)おかやま環境ネットワーク 協賛: (社)岡山県環境保全事業団 ESDプロジェクト外部部員
協立: 平井中區環境改善推進員 NPO チルドレス カフェ ハニードッグス&び

申し込み・お問い合わせ先

おかやまエコマイドネットワーク
お申し込み用紙に必要事項をご記入の上、FAXしてください。また、電話・E-mailでお申込みの場合は①お名前②住所③お電話番号④連絡事項: 一緒のお子様についてお知らせください。
Tel. 086-276-9202 (東山公民館) Fax 086-276-6202 Email bokuransomirai39@gmail.com

⑤ 異文化体験交流会「見て、知って、味わう！フェアトレードを体験しよう！」

日時：平成 29 年 1 月 28 日（土）14:00～15:30

場所：友好交流サロン

主催：岡山市・岡山市国際交流協議会、岡山フェアトレードの会として講師派遣

参加者：18人（外国人市民2人、日本人5人、子ども4人、スタッフ7人）

・イベント趣旨の説明、岡山フェアトレード会の紹介、参加者の自己紹介を実施。

・チョコレート、コーヒー、それぞれの作る手順の並び替え。

2つのグループに参加者を分け、グループAはチョコレート、グループBはコーヒーを作る手順を考える。

・グループ間で、それぞれの作成過程で気づいた事に関する意見交換や課題の説明。

・コーヒー、チョコレートの試飲、試食をしながら、フェアトレード店舗マップ

(岡山市内) の紹介。参加者の感想など。

- ・年齢、国籍を問わず和やかな雰囲気、フェアトレードを通し異文化交流、意見交換ができた。日本でのフェアトレードの認知度が海外（今回の場合、アメリカ）に比べてまだ低いことを実感した。認知度を高めていくためには、今回のような交流会、講演会などの回数を少しでも増やし、まずは知ってもらうことが重要。
- ・フェアトレードの商品は高く、なかなか購入に至らないという意見もあり、フェアトレードを、生活の中の数ある購入手段の選択肢の1つ、として考えてもらうことが大切。岡山フェアトレードの会を少しでも多くの市民に知ってもらい、フェアトレードを通して持続可能な環境、児童労働、人権問題についての知識も今後高めていく必要がある。

平成28年度
第3回

いぶんかたいけんこうりゅうかい
異文化体験交流会

「見て、知って、味わう！フェアトレード
を体験しよう！」

「フェアトレード」について学習しながらいろんな
国の人と交流してみませんか？
たくさんの方のご参加をお待ちしています。

日時 1月28日(土) 14:00~15:30

会場 友好交流サロン(西川アイプラザ4F)

講師 守屋崇史さん・滝本優さん(岡山フェアトレードの会)

参加費 300円 (協賛会員・外国人市民の方は無料)

定員 岡山所在の外国人市民の方 10名
岡山方面に熱心のある岡山所在の日本人の方 10名
定員を過ぎた場合はキャンセル

申込み: 下記必要事項を記入の上、1月16日(土)必着で
お申込ください。FAX、郵送、持参、e-mailいずれも可
後日、参加の可否をご連絡いたします。

〒 730-0801 岡山市国際交流協会
岡山市立友好交流サロン TEL:086-234-5882 FAX:086-234-5878
岡山市北区常町10-16 西川アイプラザ4F e-mail: ofa@po1.orinet.ne.jp

異文化体験交流会申込書

氏名	性別	年齢	男女	学年・級
住所	〒	電話番号		
E-mailアドレス:		国籍		

⑥ トークセッション&座談会「みんなが笑顔になるお買い物 フェアトレードってなんだろう？」

日時：2月25日(土) 13:30~16:30

場所：岡山市立北公民館

参加者：39人

主催：岡山県国際交流協会、岡山フェアトレードの会

- ・フェアトレードに関する実践者をゲストに迎え、ゲストの活動紹介と参加者の交流を目指して実施した。

・大阪女学院大学のフェアトレードサークル PEACE で活動し、関西フェアトレード学生ネットワークの中川春さん、有限会社シサム工房の村上雅敏さん、コットン古都夢のスタッフで元ピープルツリーの商品企画担当をされていた田中智子さんの3人から、活動紹介などをしていただき、その後フェアトレードコーヒーの試飲、フェアトレードコーヒーの試食タイムを設けた。

・県立岡山一宮高校、岡山学芸館高校からは、それぞれの高校が取り組んでいるフェアトレードの活動をまとめた模造紙をいただいております、会場に掲示した。両校とも期末テストの時期ということで高校生の参加は難しかったが、一宮高校からは担当の先生が参加してくださった。また、県立城東高校から1名高校生が参加し、城東高校でもフェアトレードについて学ぶサークルがあり、活動が引き継がれていることが分かった。














・今回のイベントは、単にフェアトレードに関する知識を参加者が得るだけでなく、ゲストと参加者がお互いに持っている知識や経験を語り、学びあうことを目指すとともに、相互の関係性づくり（ネットワークづくり）を目指していたが、交流の時間や全員参加型パネルディスカッション等を通して、そうした交流が行われていたように見受けられる。



- ・また、岡山県消費生活センター作成の紙芝居の読み聞かせや、岡山市消費生活センターの啓発グッズ等の配布も行い、市民団体と行政関連組織との連携も進めることができたと考えられる。

(4) ロゴ制作

- ・中国デザイン専門学校（ビジュアルデザイン科等、3年生）の協力により、27名の学生によるロゴ制作をコンペ形式で実施。集まった作品のうち、一次選考を通過した5作品による公開投票を行った。（岡山フェアトレードの会公式フェイスブックページにて）
- ・審査の結果、同校の棚田陽子さんのロゴを最優秀賞として決定し、岡山フェアトレードの会のロゴとして正式に決定した。

<p>最優秀となり、岡山フェアトレードの会のロゴとして採用されたデザイン。</p> 	<p style="text-align: center;">＜岡山フェアトレードの会ロゴ 最終候補＞</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="805 772 1061 1008"> <p>①</p>  </td> <td data-bbox="1061 772 1332 1008"> <p>②</p>  </td> </tr> <tr> <td data-bbox="805 1019 1061 1254"> <p>③</p>  </td> <td data-bbox="1061 1019 1332 1254"> <p>④</p>  </td> </tr> <tr> <td data-bbox="805 1265 1061 1478"> <p>⑤</p>  </td> <td data-bbox="1061 1265 1332 1478"> <p>◆①～⑤のうち、もっとも「岡山フェアトレードの会」のロゴにふさわしいと思うのひとつを選んで投票してください。（投票は投票までFBメッセージでお送りいただくか、okayamafairtrade@gmail.comへ送付ください。）</p> <p>◆中国デザイン専門学校3年生の協力により20件のエントリーの中から一次選考を経た5作品を最終選考の対象としています。</p> <p>投票締切：2月3日（金）</p> </td> </tr> </table>	<p>①</p> 	<p>②</p> 	<p>③</p> 	<p>④</p> 	<p>⑤</p> 	<p>◆①～⑤のうち、もっとも「岡山フェアトレードの会」のロゴにふさわしいと思うのひとつを選んで投票してください。（投票は投票までFBメッセージでお送りいただくか、okayamafairtrade@gmail.comへ送付ください。）</p> <p>◆中国デザイン専門学校3年生の協力により20件のエントリーの中から一次選考を経た5作品を最終選考の対象としています。</p> <p>投票締切：2月3日（金）</p>
<p>①</p> 	<p>②</p> 						
<p>③</p> 	<p>④</p> 						
<p>⑤</p> 	<p>◆①～⑤のうち、もっとも「岡山フェアトレードの会」のロゴにふさわしいと思うのひとつを選んで投票してください。（投票は投票までFBメッセージでお送りいただくか、okayamafairtrade@gmail.comへ送付ください。）</p> <p>◆中国デザイン専門学校3年生の協力により20件のエントリーの中から一次選考を経た5作品を最終選考の対象としています。</p> <p>投票締切：2月3日（金）</p>						

(5) ネットワークの拡大

- ・2月25日のイベントにおいて、岡山県消費生活センターの協力により、同センターが制作した啓発紙芝居「ももたといぬっち」の読み聞かせを実施。センターより1名がイベントにも参加。実施後、岡山県県民生活局くらし安心・安全課を訪問の上実施報告を行った。
- ・同イベントにおいて、岡山市消費生活センター作成の啓発資材等を配布。今後も引き続き情報共有を実施すること、市消費生活センターのイベントや実施施策に関して、市民団体として岡山フェアトレードの会ができることについては協力していく予定。
- ・平成29年6月30日～7月1日に開催される食育全国大会への出展を岡山市保健

福祉局から打診され、出展する予定となっている。3月には出展者を集めた説明会・顔合わせがあると聞いており、担当課・出展者等とのネットワークづくりを進めていきたい。

2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ

<マルチステークホルダー連携>

- ・岡山フェアトレードの会の活動に、多様なステークホルダーが参加者として関わることを目指して、高校、大学、行政組織等への呼びかけを積極的に行った。
- ・事業・イベントの実施においては、参加者同士の対話や学びあいを重視し、一方的な情報伝達を避け、対話を通じて気づきができる空間・プログラム作りを行った。

<岡山 ESD プロジェクト 重点分野との関連>

- ②ユース・人材育成・・・高校生・大学生のフェアトレード活動に焦点を当て、活動紹介を行う場を提供した。
- ③地域コミュニティ・公民館での ESD 推進・・・活動の場として公民館を利用。今後、フェアトレードに取り組んでいる学校の所在地にある公民館での開催等も検討する。
- ⑦ 企業・行政機関での取り組み推進・・・企業の取組みを紹介する場づくりを行い、関係する行政機関を巻き込んだ事業を実施。

<ポリシーメーカーとの関連>

- ・岡山市消費生活センター、岡山県消費生活センター等、フェアトレード及び「エシカル消費」（倫理的な消費）に関心が高く、市民団体との連携を求めている行政機関と情報共有を行い、事業への協力を得ることで、今後、政策決定の中でフェアトレードが取り上げられるための土台作りを行った。

<国連 Sustainable Development Goals との関連>

- ・SDGs の 12「つくる責任、つかう責任」（Responsible Consumption and Production）を意識してプログラム作りを行い、買い物という身近なものを通して持続可能な社会づくりについて参加者が考えるきっかけとなるよう工夫した。今後、SDGs について紹介する機会を増やしていきたい。

3. 取組の成果（参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など）

- ・「フェアトレード」について、イベントの参加者の中でも内容を理解しているのは3分の1程度であるが、チョコレートを作るプロセスを学ぶワークショップや、対話型のトークセッションなどを通じて、「フェアトレードがどういったものか分かった。」「これからの買い物の中で気をつけていきたいと思う。」といった感想が挙げられている。
- ・子ども向けのワークショップでは、チョコレートを作るプロセスについて、写真を並べ替えたり、DVD を見たりして、ゲーム形式で遊びながら、生産現場のを知ることができるプログラムを実施した。幼稚園、小学校低学年が主な参加者であっても、「やさしいお買い物をしたいと思った。」など、発達段階に応じた感想、気づきがあった様子である。